



平成19年11月8日

各 位

上場会社名 アルプス電気株式会社
 代表者名 代表取締役社長 片岡 政隆
 (コード番号 6770 東証 第1部)
 問合せ先 財務部長 石田 隆
 TEL(03)3726-1211(代表)

(訂正) 「平成19年3月期 決算短信」及び「平成20年3月期 第1四半期
 財務・業績の概況」の一部訂正について

下記の決算短信等の記載内容において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」の間に入り組みがありましたので訂正いたします。訂正箇所には下線を付しております。なお、この訂正により当期(平成20年3月期)の業績に与える影響はございません。

記

・「平成19年3月期 決算短信」(平成19年5月7日開示及び平成19年6月13日訂正開示)

(1) 1ページ 「(3)連結キャッシュ・フローの状況」

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期	<u>51,385</u>	<u>45,615</u>	12,995	82,751
18年3月期	66,316	47,094	14,859	87,537

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期	<u>48,939</u>	<u>43,169</u>	12,995	82,751
18年3月期	66,316	47,094	14,859	87,537

(2) 6ページ 「(2)キャッシュ・フローの状況」

【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、513億円(同22.5%減)となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益208億円の計上、減価償却費392億円の計上及びたな卸資産の減少87億円等による資金の増加と、売上債権60億円の増加及び法人税等の支払額97億円による資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は456億円(同3.1%減)となりました。この減少の主な要因は、電子部品事業を中心とした有形固定資産の取得による資金の減少430億円です。

(中略)

なお、当企業集団の財政状態に関する指標のトレンドは以下のとおりです。

	平成15年 3月期	平成16年 3月期	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期
自己資本比率(%)	30.9	33.4	34.2	37.1	37.1
時価ベースの自己資本比率(%)	53.5	57.6	59.5	63.3	45.1
債務償還年数(年)	2.8	2.7	2.3	1.7	<u>2.1</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	24.7	37.1	52.0	44.0	<u>32.5</u>

【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、489億円(同26.2%減)となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益208億円の計上、減価償却費392億円の計上及びたな卸資産の減少87億円等による資金の増加と、売上債権60億円の増加及び法人税等の支払額97億円による資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は431億円(同8.3%減)となりました。この減少の主な要因は、電子部品事業を中心とした有形固定資産の取得による資金の減少405億円です。

(中略)

なお、当企業集団の財政状態に関する指標のトレンドは以下のとおりです。

	平成15年 3月期	平成16年 3月期	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期
自己資本比率(%)	30.9	33.4	34.2	37.1	37.1
時価ベースの自己資本比率(%)	53.5	57.6	59.5	63.3	45.1
債務償還年数(年)	2.8	2.7	2.3	1.7	<u>2.2</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	24.7	37.1	52.0	44.0	<u>31.0</u>

(3) 24ページ 「(4)連結キャッシュ・フロー計算書」

【訂正前】

		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	対前年比
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)	増減 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
(中 略)				
31 その他		3,927	<u>1,477</u>	
小計		79,224	<u>60,849</u>	<u>18,375</u>
32 利息及び配当金の受取額		1,211	1,915	
33 利息の支払額		1,508	1,581	
34 法人税等の支払額		12,610	9,797	
営業活動によるキャッシュ・フロー		66,316	<u>51,385</u>	<u>14,931</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 定期預金の預入による支出		1,733	-	
2 有形固定資産の取得による支出		44,969	<u>43,013</u>	
3 有形固定資産の売却による収入		2,337	1,555	
4 無形固定資産の取得による支出		5,462	5,837	
5 投資有価証券の取得による支出		797	575	
6 投資有価証券の売却による収入		281	968	
7 金銭の信託償還による収入		2,340	-	
8 その他		909	1,285	
投資活動によるキャッシュ・フロー		47,094	<u>45,615</u>	<u>1,478</u>

(後 略)

【訂正後】

		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	対前年比
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)	増減 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
(中 略)				
31 その他		3,927	<u>3,923</u>	
小計		79,224	<u>58,403</u>	<u>20,821</u>
32 利息及び配当金の受取額		1,211	1,915	
33 利息の支払額		1,508	1,581	
34 法人税等の支払額		12,610	9,797	
営業活動によるキャッシュ・フロー		66,316	<u>48,939</u>	<u>17,377</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 定期預金の預入による支出		1,733	-	
2 有形固定資産の取得による支出		44,969	<u>40,567</u>	
3 有形固定資産の売却による収入		2,337	1,555	
4 無形固定資産の取得による支出		5,462	5,837	
5 投資有価証券の取得による支出		797	575	
6 投資有価証券の売却による収入		281	968	
7 金銭の信託償還による収入		2,340	-	
8 その他		909	1,285	
投資活動によるキャッシュ・フロー		47,094	<u>43,169</u>	<u>3,924</u>

(後 略)

。「平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況」(平成19年8月8日開示)

(1) 1ページ 「(3)連結キャッシュ・フローの状況」

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	<u>6,058</u>	<u>10,397</u>	3,580	76,958
19年3月期第1四半期	5,611	12,135	4,294	85,369
19年3月期	<u>51,385</u>	<u>45,615</u>	12,995	82,751

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	<u>8,505</u>	<u>12,843</u>	3,580	76,958
19年3月期第1四半期	5,611	12,135	4,294	85,369
19年3月期	<u>48,939</u>	<u>43,169</u>	12,995	82,751

(2) 4ページ 「キャッシュ・フローの状況」

【訂正前】

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は6,058百万円となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益7,342百万円の計上、減価償却費10,136百万円、売上債権の減少額2,850百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加額3,187百万円、仕入債務の減少額3,837百万円、長期未払金の減少額1,894百万円及び法人税等の支払額3,408百万円による資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は10,397百万円となりました。この減少の主な要因は、電子部品事業を中心とした固定資産の取得による支出9,186百万円によるものです。

【訂正後】

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は8,505百万円となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益7,342百万円の計上、減価償却費10,136百万円、売上債権の減少額2,850百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加額3,187百万円、仕入債務の減少額3,837百万円、長期未払金の減少額1,894百万円及び法人税等の支払額3,408百万円による資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は12,843百万円となりました。この減少の主な要因は、電子部品事業を中心とした固定資産の取得による支出11,632百万円によるものです。

(3) 12ページ 「(4)(要約)連結キャッシュ・フロー計算書」

【訂正前】

(単位：百万円)

科目	期	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(参考)前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
(中略)				
その他		2,553	<u>3,208</u>	<u>3,612</u>
小計		10,344	<u>9,252</u>	<u>60,849</u>
法人税等の支払額		5,061	3,408	9,797
その他		327	214	334
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,611	<u>6,058</u>	<u>51,385</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出		11,747	9,186	<u>48,850</u>
その他		387	1,210	3,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		12,135	<u>10,397</u>	<u>45,615</u>

(後略)

【訂正後】

(単位：百万円)

科目	期	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(参考)前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
(中略)				
その他		2,553	<u>762</u>	<u>6,058</u>
小計		10,344	<u>11,698</u>	<u>58,403</u>
法人税等の支払額		5,061	3,408	9,797
その他		327	214	334
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,611	<u>8,505</u>	<u>48,939</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出		11,747	<u>11,632</u>	<u>46,404</u>
その他		387	1,210	3,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		12,135	<u>12,843</u>	<u>43,169</u>

(後略)